

# 大敷網の 伝播と変化

下関の漁撈調査報告展  
おもしろい  
おもしろい  
おもしろい



山口県豊浦町湯玉から  
全国へ伝承された  
漁師の【網】の技術

大敷網漁業図 2023年制作  
下関市立豊北歴史民俗資料館 所蔵



▲大敷網の先端の指示役



▲網を引っ張る漁師

主催 下関市立豊北歴史民俗資料館 太翔館

江戸時代、山口県下関市豊浦町湯玉から九州西海岸を經由して、西南方面へ伝承された漁師の「網」の技術があったと、発祥地である湯玉浦に立つ石碑は語ります。それは「大敷網」と呼ばれる定置網のことでした。石碑には、湯玉浦の漁師たちが九州西海岸へ出漁した記述が多く残っています。しかし石碑に残るほどの偉業を成した「大敷網」の技術伝播は、九州西海岸だけではありませんでした。

昨年度、日本海側を北上した「大敷網」の技術伝承を頼りに、西南方面とは反対の、島根県出雲市と山口県萩市江崎で聞き取り調査を行いました。

本企画展はこれらの調査結果と、定置網に関する大要を紹介します。また、湯玉式大敷網を100分の1スケールで再現し、展示会場にて間近でご覧いただくとともに、現在の「大敷網」へどのように変化していったのかを紐解きます。網漁に関わる漁撈具として、国登録有形民俗文化財「豊北の漁撈用具」からは浮子を出展。

日常ではあまり触れることのない漁撈具の世界を、ぜひこの機会にご覧ください。

2023年  
6.6(火) → 8.27(日)

〈お問合せ〉TEL&FAX 083-782-1651 (太翔館)

【場所】下関市立豊北歴史民俗資料館 太翔館 2階講堂  
【料金】入館観覧 無料  
【開館】9:00~17:00(入館は16:30まで)  
【休館】月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)・年末年始  
※ 8/14(月)は開館